

2012 **米**
11月号

原水協通信

MEMBER OF THE JAPAN COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話(03)5842-6031

FAX(23)5842-6033

http://www.antiatom.org/

Email:antiatom55@hotmail.com

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4

〔編集〕原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 Tel (06) 67

核兵器全面禁止の「アピール」署名推進めざして

大阪100万署名推進委員会を結成

10月26日、2015年NPT（核不拡散条約）再検討会議に向けて大阪で100万署名を達成するため「大阪100万署名推進委員会」が結成されました。



準備委員として川辺和弘・

大阪労連議長、川本幹子・新婦人大阪府本部会長、向井明彦・大阪民医連会長、岩田幸雄・大阪原水協理事長が呼びかけ、小松正明大阪原水協事務局長が推進委員会結成議案を提案、満場一致で結成されました。代表委員には呼びかけ人の4氏が選出され、「草の根から署名をひろげ、核兵器のない世界を実現しよう！」のアピールを発表しました。（二面にアピール全文を掲載しています）

事務局団体には大阪労連、新婦人、大商連、民医連、大教組、自治労連、大阪国公、自交総連、医労連、平和委員会、非核の政府を求める会、民青、共産党など13団体を確認。今後毎月第4週の開催を基本にして事務局団体会議を開催することになりました。

11月6日（火）午後5時～6時、JR天王寺駅東口で推進委員会として最初の駅頭での署名・宣伝行動を行います。皆さんのご参加をお願いします。

国連軍縮週間のつどい開く

10月27日此花会館・梅香殿で「2012年国連軍縮週間のつどい」を開催、52名の皆さんにご参加いただきました。会場には「原爆と人間」の新パネルを展示し参加者にみていただきました。恒例の文化行事・日本音楽家ユニオンの「ドルチェフィオーレ」の皆さんによる素敵なミニコンサートで開幕。



高草木博日本原水協代表理事から「核兵器のない世界へ、被爆国日本の役割」と題して記念講演していただきました。参加者から「今こそ核兵器全面禁止を实らせるべき時期だと確信が持てた」などの感想が寄せられました。

2015年NPT準備委員会への日本原水協代表団メンバーを募集します

—来年4月21日(日)～28日(日)にスイス・ジュネーブで開催—

今年ウイーンで開かれた第1回準備委員会に続き、第2回目の準備委員会が予定されています。日程は多少前後することがあります。費用は概算32万円ですが、所属団体・地域原水協からのカンパ派遣を原則とします。青年のみなさんの応募を期待します。

2013年度版

いわさきちひろカレンダー

—今年もぜひお求め下さい—

2013年度版のカレンダーが出来上がり10月から発送を始めています。

例年10月から本格的な普及活動を行ってきましたが、他のカレンダーも出回っていることから早い段階での取り組みが重要です。そこで各加盟

団体の皆様には恐縮ですが9月から普及の予約活動をお願いしているところです。予め25部を単位にカレンダーを引き取っていただき（送料無料）、現物をみせて普及していただくと効果抜群です。昨年実績を上回る普及にご協力をお願いします。（還元金あり、お申込みは大阪原水協まで）

《大判A2版 絵7枚→1部1400円》



原爆症認定集団訴訟 (当面の日程)

全て大阪地裁ですが、裁判内容によって法廷が変わりますのでご注意ください。

- ◎ 11月7日（水）午後1時30分～5時
202号法廷
義務付け訴訟
- ◎ 12月6日（木）午後1時30分～5時
806号法廷
新・却下取り消し訴訟
- ◎ 1月17日（木）午後1時30分～5時
806号法廷
新・却下取り消し訴訟

12月度 6・9行動

＜大阪100万署名推進委員会
の第2回目の署名行動は＞

12/6(木) 午後5時～6時 JR・天王寺駅東口

草の根の署名運動をひろげ、核兵器のない世界を実現しよう！ ～「核兵器全面禁止のアピール署名」大阪100万筆達成をよびかけます～

平和を愛する仲間のみなさん

広島、長崎への原爆投下から67年を経た今もなお、約2万発の核兵器が人類の生存を脅かし続けている中で、全世界の人々が「核兵器のない世界」の実現のために力を合わせ、また福島原発事故の被災者をふくむ全ての核被害者とも連帯した運動がひろがり、更に核兵器と表裏の関係で開発されてきた原子力発電所についても、原発ゼロを求める行動は国政を揺り動かすまでに発展しています。

こうした運動の一環として、2011年から取組まれているのが「核兵器全面禁止のアピール署名」運動です。この署名は、2010年の核不拡散条約（NPT）再検討会議で、加盟189カ国全てが「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことに合意したことの実行を求めるものであり、すでに全国で210万筆、大阪では11万余筆が集約され、国連に届けられています。

この署名は、核兵器禁止条約締結の交渉にむけて2015年のNPT再検討会議が実りある成果をあげるよう、国際政治の進展を草の根からリードするうえで極めて重要な意義をもつものであり、私たちの役割発揮が期待されています。

2015年のNPT再検討会議にむけては、すでに第1回準備会が今年4月にウイーンで開催され、そこでも世界の圧倒的多数が加盟する非同盟運動や新アジェンダ連合などが、核兵器による威嚇・使用は人類全体に対する犯罪だとして、核保有国の「核抑止力」を厳しく批判しています。

国連加盟国の7割が核兵器禁止条約の即時交渉開始を支持し、世界の平和NGOも一致して要求し、この流れはゆるぎないものとなってきています。

平和を愛する仲間のみなさん

2010年のNPT再検討会議にむけて呼びかけられた「すみやかな核兵器廃絶を」の署名は、大阪63万筆をふくむ全国691万筆が、ニューヨークに派遣された1600余名の日本代表団の手で国連に届けられ、2010年NPT再検討会議の前進に貢献しています。国民一人一人が自分の意思を表すこと—これが署名運動の基本です。

「百万の署名は戦争放火者を激怒させるだろう。千万の署名は彼らを混乱させ、そして億の署名は彼らを沈黙させるだろう」（1950年 ヒューレットジョンソン）という有名な言葉のように、それが多数になれば大きな威力を発揮することは歴史が示すとおりです。

平和を愛する仲間のみなさん

私たちは、本日ここに2015年NPT再検討会議の成功にむけて、すでに取り組まれている「核兵器全面禁止アピール署名」運動の大きな飛躍をはかるため、「核兵器全面禁止のアピール・大阪100万署名推進委員会」を発足させました。

大阪での100万筆の署名は、大阪の反核平和を願う全ての人々の力を集めれば、必ず達成できる目標であることは過去の実績からも明瞭であり、大阪での署名運動の飛躍が全国の運動を大きく激励することも明らかです。この「大阪100万署名推進委員会」に、ぜひ広範な団体・個人の方々をご参加いただき、協力していただくよう心から呼びかけるものです。

「大阪100万署名推進委員会」が中心となって、必要な宣伝資材の作成や統一行動の設定などの準備をすすめます。またお互いの取組みや教訓を交流しながら大阪府内の地域・職場・学園の隅々から核兵器廃絶にむけた学習運動や大規模な宣伝行動、署名運動を具体化させ、すすめていきます。大阪府民のみなさんから寄せられた署名は、節々での各国政府や国連への要請行動、そして大阪からも派遣する2015年NPT再検討会議大阪代表団にこれを託していきます。

皆さんの「核兵器をなくそう」の熱い思いを、大阪100万筆署名の達成へと結実させるために格段のご協力とご奮闘を心から訴えるものです。

2012年10月26日

「核兵器全面禁止のアピール署名・大阪100万署名推進委員会」

代表委員	川辺和宏	（全大阪労働組合総連合議長）
同	川本幹子	（新日本婦人の会大阪府本部会長）
同	向井明彦	（大阪民主医療機関連合会会長）
同	岩田幸雄	（原水爆禁止大阪府協議会理事長）